

Part I

試行錯誤しながら考える

1. 「被災するということ」への理解と共感

—被災地に学び、防災に生かすためのフィールドワーク

2. 地域の将来を見据えた復興計画づくり

—被災地のバトンをつなぐこと

3. 日常から見える「防災」

—イスタンブルでの文化人類学的参与観察

4. 理系研究者によるインタビュー調査

—2004年インド洋大津波

柄谷友香

10

澤田雅浩

26

木村周平

44

林 能成

59

Part II

現場を記録し、次につなげる

5. 超広域災害に立ち向かう

—東日本大震災被災地での住民参加・組織型フィールドワークの試み

佐藤翔輔

78

Part III

地域の個性から災害を理解する

6. 参与と観察の自治体災害対応
　　－小千谷市の対応現場から
7. 生活再建・コミュニティ復興に寄り添う
　　－長期にわたる社会学的被災地研究

大矢根淳

6. 参与と観察の自治体災害対応
　　－小千谷市の対応現場から
7. 生活再建・コミュニティ復興に寄り添う
　　－長期にわたる社会学的被災地研究

田中 聰

8. 大地震の歴史とメカニズムを捉える
　　－活断層への地理学的アプローチ
9. 火山の鼓動をさく
　　－火山学のフィールドワーク
10. 復興まちづくりでのプラクティス
　　－プランニングにむけてのフィールドワーク
11. 災害が露にする「地域のかたち」
　　－スマトラの人道支援の事例から

杉戸信彦

嶋野岳人

饗庭 伸

山本博之

大矢根淳

田中 聰

115

97